

分析結果報告書

東海技水第 10102455-001 号

平成 22 年 7 月 21 日

岡崎市竜美丘会館

様

計量証

財団

理

名古屋

TEL

出張採取	(平成 22 年 6 月 14 日受入)		
試料の種類	吹付け材		
採取場所	岡崎市竜美丘会館 ホール棟 2階ホワイエ天井		
採取日時	平成 22年 6月 14日	10時 50分	天候
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分 析 対 象		単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	
[備考]				

石綿（アスベスト）分析結果

【試料】

吹付け材（岡崎市竜美丘会館 ホール棟 2階ホワイエ天井）

【測定方法】

「建材中の石綿含有率の分析方法等に係る留意事項について」（平成20年7月17日 基安化発第 0717003号）に示された「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（JIS A 1481:2008）に準拠
（分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、ケストライト、トremolait/アクチノライト、アソファイト）

【測定方法の詳細】

1. 試料を粉碎又は加熱処理した後に、一次分析試料を作製する。
 2. 一次分析試料にアスベストが認められるかを、X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡使用の分散染色法による定性分析によって確認する。ただし、一次分析試料が吹付け材で、X線回折分析によってパーミキュライト（ハイドロパイオタイト含む）が認められた場合は、吹付けパーミキュライトによる定性分析方法によってアスベストの有無の分析を行う。
 - (1) X線回折分析方法による定性分析
一次分析試料をホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからアスベスト又はパーミキュライトの回折ピークの有無を確認する。
 - (2) 分散染色法による定性分析
一次分析試料を水中で攪拌分散させたものをスライドガラス上に滴下、乾燥後、スライドガラス上に浸液を滴下し、位相差・分散顕微鏡にて分散色を示すアスベストの繊維の有無を確認する。
 - (3) 吹付けパーミキュライトを対象とした定性分析及びアスベスト有無の分析
一次分析試料を塩化カリウム処理後、ホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからクリソタイル、トremolait/アクチノライトの有無を確認する。
 3. アスベストが認められた場合（吹付けパーミキュライトは除く。）、一次分析試料を硝酸で処理して、二次分析試料又は三次分析試料を作製する。
 4. 二次分析試料中又は三次分析試料中のアスベスト含有量を基底標準吸収補正法によるX線回折分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。
- ※参考として、参考資料1にアスベスト含有率測定方法フローを、参考資料2に吹付けパーミキュライトの分析フローを示す。また、参考資料3にアスベスト標準試料の分散色を示す。

【測定結果】

定性分析結果	定量分析結果	
アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	—	—

分析結果報告書

東海技水第 10102455-002 号

平成 22 年 7 月 21 日

岡崎市竜美丘会館

様

計量証明

財団法

理

名古屋市

TEL(

出張採取 (平成 22 年 6 月 14 日受入)			
試料の種類	吹付け材		
採取場所	岡崎市竜美丘会館 ホール棟 ホール天井裏鉄骨部		
採取日時	平成 22 年 6 月 14 日	10 時 20 分	天候
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分 析 対 象		単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	
[備考]				

石綿（アスベスト）分析結果

【試料】

吹付け材（岡崎市竜美丘会館 ホール棟 ホール天井裏鉄骨部）

【測定方法】

「建材中の石綿含有率の分析方法等に係る留意事項について」（平成20年7月17日 基安化発第0717003号）に示された「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（JIS A 1481:2008）に準拠（分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモシト、クロシトライト、トレモライト/アクチノライト、アンソファイト）

【測定方法の詳細】

1. 試料を粉砕又は加熱処理した後に、一次分析試料を作製する。
 2. 一次分析試料にアスベストが認められるかを、X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡使用の分散染色法による定性分析によって確認する。ただし、一次分析試料が吹付け材で、X線回折分析によってパーミキュライト（ハイドロパイオタイト含む）が認められた場合は、吹付けパーミキュライトによる定性分析方法によってアスベストの有無の分析を行う。
 - (1) X線回折分析方法による定性分析
一次分析試料をホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからアスベスト又はパーミキュライトの回折ピークの有無を確認する。
 - (2) 分散染色法による定性分析
一次分析試料を水中で攪拌分散させたものをスライドガラス上に滴下、乾燥後、スライドガラス上に浸液を滴下し、位相差・分散顕微鏡にて分散色を示すアスベストの繊維の有無を確認する。
 - (3) 吹付けパーミキュライトを対象とした定性分析及びアスベスト有無の分析
一次分析試料を塩化カリウム処理後、ホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからクリソタイル、トレモライト/アクチノライトの有無を確認する。
 3. アスベストが認められた場合（吹付けパーミキュライトは除く。）、一次分析試料を硝酸で処理して、二次分析試料又は三次分析試料を作製する。
 4. 二次分析試料中又は三次分析試料中のアスベスト含有量を基底標準吸収補正法によるX線回折分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。
- ※参考として、参考資料1にアスベスト含有率測定方法フローを、参考資料2に吹付けパーミキュライトの分析フローを示す。また、参考資料3にアスベスト標準試料の分散色を示す。

【測定結果】

定性分析結果	定量分析結果	
アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	—	—

分析結果報告書

東海技水第 10102455-003 号
平成 22 年 7 月 21 日

岡崎市竜美丘会館 様

計量証明
財団法
理
名古屋市
TEL(

出張採取 (平成 22 年 6 月 14 日受入)			
試料の種類	吹付け材		
採取場所	岡崎市竜美丘会館 本館棟 A階段・B階段		
採取日時	平成 22年 6月 14日	11時 30分	天候
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分 析 対 象		単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	
[備考]				

石綿（アスベスト）分析結果

【試料】

吹付け材（岡崎市竜美丘会館 本館棟 A階段・B階段）

【測定方法】

「建材中の石綿含有率の分析方法等に係る留意事項について」（平成20年7月17日 基安化発第0717003号）に示された「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（JIS A 1481:2008）に準拠（分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロソライト、トレモライト/アクチノライト、アンソナイト）

【測定方法の詳細】

1. 試料を粉碎又は加熱処理した後に、一次分析試料を作製する。
 2. 一次分析試料にアスベストが認められるかを、X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡使用の分散染色法による定性分析によって確認する。ただし、一次分析試料が吹付け材で、X線回折分析によってパーミキュライト（ハイドロパイオタイト含む）が認められた場合は、吹付けパーミキュライトによる定性分析方法によってアスベストの有無の分析を行う。
 - (1) X線回折分析方法による定性分析
一次分析試料をホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからアスベスト又はパーミキュライトの回折ピークの有無を確認する。
 - (2) 分散染色法による定性分析
一次分析試料を水中で攪拌分散させたものをスライドガラス上に滴下、乾燥後、スライドガラス上に浸液を滴下し、位相差・分散顕微鏡にて分散色を示すアスベストの繊維の有無を確認する。
 - (3) 吹付けパーミキュライトを対象とした定性分析及びアスベスト有無の分析
一次分析試料を塩化カリウム処理後、ホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからクリソタイル、トレモライト/アクチノライトの有無を確認する。
 3. アスベストが認められた場合（吹付けパーミキュライトは除く。）、一次分析試料を硝酸で処理して、二次分析試料又は三次分析試料を作製する。
 4. 二次分析試料中又は三次分析試料中のアスベスト含有量を基底標準吸収補正法によるX線回折分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。
- ※参考として、参考資料1にアスベスト含有率測定方法フローを、参考資料2に吹付けパーミキュライトの分析フローを示す。また、参考資料3にアスベスト標準試料の分散色を示す。

【測定結果】

定性分析結果	定量分析結果	
	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	—	—

分析結果報告書

東海技水第 10102455-004 号

平成 22 年 7 月 21 日

岡崎市竜美丘会館

様

計量証

財団

名古屋

TEL

出張採取 (平成 22 年 6 月 14 日受入)			
試料の種類	吹付け材		
採取場所	岡崎市竜美丘会館 本館棟 6 階空調機械室		
採取日時	平成 22 年 6 月 14 日	11 時 10 分	天候
採取者名			

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分 析 対 象		単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	
[備考]				

石綿（アスベスト）分析結果

【試料】

吹付け材（岡崎市竜美丘会館 本館棟 6階空調機械室）

【測定方法】

「建材中の石綿含有率の分析方法等に係る留意事項について」（平成20年7月17日 基安化発第0717003号）に示された「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（JIS A 1481:2008）に準拠
（分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモシト、クロソライト、トレモライト/アクチノライト、アソフィライト）

【測定方法の詳細】

1. 試料を粉砕又は加熱処理した後に、一次分析試料を作製する。
 2. 一次分析試料にアスベストが認められるかを、X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡使用の分散染色法による定性分析によって確認する。ただし、一次分析試料が吹付け材で、X線回折分析によってバーミキュライト（ハイドロパイオタイト含む）が認められた場合は、吹付けバーミキュライトによる定性分析方法によってアスベストの有無の分析を行う。
 - (1) X線回折分析方法による定性分析
一次分析試料をホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからアスベスト又はバーミキュライトの回折ピークの有無を確認する。
 - (2) 分散染色法による定性分析
一次分析試料を水中で攪拌分散させたものをスライドガラス上に滴下、乾燥後、スライドガラス上に浸液を滴下し、位相差・分散顕微鏡にて分散色を示すアスベストの繊維の有無を確認する。
 - (3) 吹付けバーミキュライトを対象とした定性分析及びアスベスト有無の分析
一次分析試料を塩化カリウム処理後、ホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからクリソタイル、トレモライト/アクチノライトの有無を確認する。
 3. アスベストが認められた場合（吹付けバーミキュライトは除く。）、一次分析試料を硝酸で処理して、二次分析試料又は三次分析試料を作製する。
 4. 二次分析試料中又は三次分析試料中のアスベスト含有量を基底標準吸収補正法によるX線回折分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。
- ※参考として、参考資料1にアスベスト含有率測定方法フローを、参考資料2に吹付けバーミキュライトの分析フローを示す。また、参考資料3にアスベスト標準試料の分散色を示す。

【測定結果】

定性分析結果	定量分析結果	
アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	—	—

分析結果報告書

東海技水第 10102455-005 号

平成 22 年 7 月 21 日

岡崎市竜美丘会館

様

計量証明

財団法

理

名古屋市

TEL

出張採取	(平成 22 年 6 月 14 日受入)			
試料の種類	吹付け材			
採取場所	岡崎市竜美丘会館 地下駐車場天井			
採取日時	平成 22 年 6 月 14 日	11 時 55 分	天候	
採取者名				

上記試料に対する分析結果を次のとおり報告します。

分 析 対 象		単 位	分 析 結 果	備 考
1	石綿定性 (以下余白)	—	別紙参照	
[備考]				

石綿（アスベスト）分析結果

【試料】

吹付け材（岡崎市竜美丘会館 地下駐車場天井）

【測定方法】

「建材中の石綿含有率の分析方法等に係る留意事項について」（平成20年7月17日 基安化発第0717003号）に示された「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（JIS A 1481:2008）に準拠（分析対象アスベスト種：クリソタイル、アモサイト、クロソライト、トレモライト/アクチノライト、アノフィライト）

【測定方法の詳細】

1. 試料を粉砕又は加熱処理した後に、一次分析試料を作製する。
 2. 一次分析試料にアスベストが認められるかを、X線回折分析及び位相差・分散顕微鏡使用の分散染色法による定性分析によって確認する。ただし、一次分析試料が吹付け材で、X線回折分析によってパーミキュライト（ハイドロパイオタイト含む）が認められた場合は、吹付けパーミキュライトによる定性分析方法によってアスベストの有無の分析を行う。
 - (1) X線回折分析方法による定性分析
一次分析試料をホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからアスベスト又はパーミキュライトの回折ピークの有無を確認する。
 - (2) 分散染色法による定性分析
一次分析試料を水中で攪拌分散させたものをスライドガラス上に滴下、乾燥後、スライドガラス上に浸液を滴下し、位相差・分散顕微鏡にて分散色を示すアスベストの繊維の有無を確認する。
 - (3) 吹付けパーミキュライトを対象とした定性分析及びアスベスト有無の分析
一次分析試料を塩化カリウム処理後、ホルダーに充填し、X線回折分析を行う。得られたX線回折パターンからクリソタイル、トレモライト/アクチノライトの有無を確認する。
 3. アスベストが認められた場合（吹付けパーミキュライトは除く。）、一次分析試料を硝酸で処理して、二次分析試料又は三次分析試料を作製する。
 4. 二次分析試料中又は三次分析試料中のアスベスト含有量を基底標準吸収補正法によるX線回折分析方法によって求め、アスベスト含有率を算出する。
- ※参考として、参考資料1にアスベスト含有率測定方法フローを、参考資料2に吹付けパーミキュライトの分析フローを示す。また、参考資料3にアスベスト標準試料の分散色を示す。

【測定結果】

定性分析結果	定量分析結果	
アスベスト含有の有無	アスベストの種類	アスベスト含有率 (%)
アスベスト含有せず	_____	_____